

FAQ（よくある質問）

【事前準備】

Q. スマホ一台で受験は可能か？

A. 可能ですが、機種によっては問題を閲覧する際に自動的にカメラがオフになってしまい、不正行為を疑われる虞もありますので、予め担当教員に連絡するようにしてください。他の機器の不調などで急遽スマホのみで受験することになった場合でも、なるべく早く担当教員に伝えるようにしてください。

Q. 首都大学東京時代の学生証でもよいか？

A. 構いません。

Q. 家族の出入りする空間で受験するなど、実施要領にある「静謐な環境」を用意できない場合はどうすればよいか？

A. 担当教員にあらかじめ相談してください（実施要領【事前準備】10）。

一般的には、オンライン試験の受験環境が学生によって様々であることは当然ですので、なるべく柔軟に対応することが基本方針です。ただし、不正行為とみなされることを防ぐため、また本来の学力を発揮するためにも、以下の点に注意してください。

(1) 事前に家族と相談して、試験時間中は静かにしておいてもらうようお願いしておくこと

(2) 試験時間中は極力会話が生じないように注意すること

担当教員に問い合わせる際にも、(1)、(2)について事前にお伝えしてください。

【定刻前】

Q. 鼻紙や飲み物の持ち込みは許可されるか？

A. カメラオフの場合には制限がありません。カメラオンの場合には、フレームに収まっている限りは基本的には許可されます。ただし、担当教員から別の指示がある場合には、その指示に従ってください。

Q. （カメラオンの場合）採光の関係で Zoom カメラの映像が暗くなるが、問題ないか？

A. カメラオンの趣旨は不正行為のチェックですので、その監視機能を果たしうる画質がある限り問題ははありません。

Q. (カメラオンの場合) Zoom に接続するパソコンの性質上、カメラが指示された画角にならないが、どうしたらよいか？

A. 本番までの間に各自で対応してください。パソコンを固定したり、また Zoom 接続にスマホを使うなどの対応が考えられます。どうしても解決されない場合には担当教員に相談してください。

Q. (カメラオンの場合) 机が十分に広くなく、参照資料がフレームに収まらないが、どうすればよいか？

A. 参照資料は「可能な限り」フレームに入っていれば構いません（実施要領【定刻前】5）。ただし、参照するに際しては（画角外の資料を見ていると不正行為とみなされるおそれがあるため）参照資料をフレームのなかに持ち込んでから参照するように気をつけてください（実施要領【解答中の注意事項】8）。

Q. スマホで問題文を閲覧してもよいか？

A. 構いません（実施要領【定刻前】5の※※）。

ただし、スマホの小さい画面では問題閲覧に不便がある場合がありますのでご注意ください。また、解答時間中に問題閲覧のためあまり頻繁にスマホを操作していると不正行為とみなされる虞もあるため、スクリーンロックがかかる時間をなるべく長く設定しておくことが望まれます。加えて、試験監督の教員に予め説明しておくことも考えられます。

Q. バックアップ用、質問用のために複数台の電子機器を Zoom に接続してよいか？

A. 構いません。ただし、（カメラなどで主として用いるものを一台目としたとき）二台目以降の電子機器を接続するにあたっては以下の点に注意してください。

- (1) (カメラオン試験の場合には) 二台目以降はカメラオフすること
- (2) その表示名を「学修番号-2」のように、同一人物でかつ、二台目以降であることが分かるように変更すること
- (3) 大人数授業の場合には担当教員に予め相談すること。一人の受験者が複数のデバイスで接続することでミーティングルームの人数制限に抵触するおそれがあるためです。

Q. Zoom 接続用、問題閲覧用とは別に、答案撮影用のスマホを用意しているが、試験時間中はどうすればよいか？

A. 解答中は電源を切っておき（実施要領【定刻前】7）、試験終了後に電源を入れて利用すること。

【解答中】

Q. (カメラオン試験の場合) 問題閲覧にあたって5秒以上の端末操作が必要になる場合にはどうすればよいか？

A. 5秒は一つの目安であり、機材の構成によってこれ以上の時間が必要であることは考えられますので、この場合5秒以上の端末操作がただちに不正行為となることはありません。たとえばスマホなどで問題文が画面に収まらない場合にこれをスクロールして閲覧するにあたって5秒以上かかることは構いません(実施要領【解答中の注意事項】3)。ただし、不正行為と疑われることのないよう、必要最小限の操作を心がけてください。なお、問題ファイルへのパスワード入力に際してはこの時間制限は適用されません(実施要領【定刻～解答開始】3)。

Q. 解答にあたって、開いた問題文を印刷する必要があるか？

A. 開いた電子情報機器で、そのまま問題を閲覧して解答して構いません。
なお、ごく近くにプリンターがある場合には印刷することも考えられます。フレームアウトせずに印刷できる場合には構いませんが、フレームアウトが必要な場合には逐一教員の許可を得る必要があります。

Q. パスワードのメモや解答にあたって、メモを取る場合にはどうすればよいか？

A. メモの扱いは参照資料と同様です。教員から別途指示がない限りは、各自メモを自由に持ち込んで構いませんし、カメラオンの試験でもフレームインしている限り自由に利用してもらって構いません。
(実施要領【解答中の注意事項】8)

Q. 間違いはどのように訂正すればよいか？

A. 二重線で抹消して訂正するなど、適宜採点者に分かる形式をとってください。

Q. 質問をするにあたって、手許が見えなくなることは許されるか？

A. 構いません。

【提出】

Q. 光の加減で学生証などが見えにくい場合にはどうすればよいか？

A. 正しく判読できる限り、問題はありません。

Q. 問題閲覧やZoom接続のための機器とは別のスマホで答案を撮影・スキャンしてもよいか？

A. 構いません。カメラオフであれば言うまでもなく、カメラオンであっても手書き答案がフレーム内に映し出されている限り、不正行為とはみなされませんので、スムーズに提出するため各自最善の手段を用いてください。(実施要領【解答時間終了後～答案提出～退室】3)

Q. 答案を Zoom に接続しているスマホで撮影・スキャンするにあたり、Zoom を一度閉じなければならぬが、認められるか？

A. 構いません。(実施要領【解答時間終了後～答案提出～退室】8)

Q. (カメラオン試験で) 答案を Zoom に接続しているスマホで撮影・スキャンするにあたり、答案が映り込んでしまうように思われるが、どうすればよいか？

A. 多くの機種では撮影の際には Zoom のカメラが自動的にオフになるので問題にならないと考えています。万が一映り込んでしまった場合でも、他の参加者には自身以外のビデオを最小化するように指示しているうえ、他の参加者もカメラオンで監視されているためその時点から書き換えをすることはできませんので、プライバシー侵害や不正行為誘発のリスクは小さいと考えています。

Q. (カメラオン試験で) 答案を Zoom に接続しているスマホで撮影・スキャンするにあたり、部屋の背後などが映り込まないように、一瞬カメラにカバーをすることは問題ないか？

A. 基本的には問題ないと考えられますが、不正行為を疑われる虞もあるので、部屋の背後などが映り込まないようにスムーズに答案を撮影できるよう事前に練習しておくことが望ましいです。なお、他の参加者には自身以外のビデオを最小化するように指示していますので、プライバシー侵害のリスクは相応に低減できていると考えています。

Q. kibaco に提出する際、Adobe scan で保存されたクラウドのリンクを送ることは認められるか？

A. 認められません。必ず PDF を提出してください(「手書き答案の提出方法」5. PC への送信)。